

事業コード	H18-建-新-3		区 分	国庫補助 県単独
事業名	地方道路交付金事業費		部局課室名	建設交通部 道路課
事業種別	一次改築(バイパス)		班 名	企画班 (tel) 018-860-2485
路線名等	(主)ニツ井森吉線		担当課長名	檜森 悦朗
箇所名	北秋田市増沢		担当者名	主幹兼班長 土谷 諄一
総合計画との関連	政策コード	U	政 策 名	交流・連携と生活を支える交通基盤の整備
	施策コード	04	施 策 名	地域内交通ネットワーク・生活圏交通の整備
	指標コード	02	施策目標(指標)名	県道改良率

1. 事業の概要

事業期間	H19 ~ H23 (5年)		総事業費	13.0億円	国庫補助率	5.5/10	
事業規模	延長L=2,000m、幅員(構成)W=6.0(8.5)m、(1.25-6.0-1.25)m 橋梁部W=6.0(10.5)m						
事業の立案に至る背景	<p>当該路線は、能代市を起点とし北秋田市に至る幹線道路であり、県北部の地域間交流支援を担うとともに、通学路指定路線になっているなど、沿線住民にとっては重要な生活道路となっている。しかし、当該区間は幅員狭小(Wmin=4.0m)、線形不良(Rmin=20m)で歩道も無いことから、歩行者の安全確保や幹線道路の機能に支障をきたしている(V=30km/h)。また昭和35年に架設された高長橋は、コンクリートの劣化が激しいうえ鉄筋が露出・腐食しているため、構造上危険な状態となっている。</p> <p>幹線道路としての広域的な機能と、生活道路としての安全性を早急に確保するため、新規箇所として要望するものである。</p>						
事業目的	<p>大型車のすれ違い困難箇所の解消(地域づくりの支援)</p> <p>通学路における児童の安全確保(安全な生活環境の確保)</p> <p>老朽化が進む橋梁の架替え(防災・危機管理の充実)</p> <p>第二次緊急輸送道路としての機能確保(防災・危機管理の充実)</p>						
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)			全 体	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度以降
	事業費		1,300,000	50,000	200,000	270,000	780,000
	経費内訳	工事費	1,060,000		55,000	258,000	747,000
		用補費	117,000		117,000		
		その他	123,000	50,000	28,000	12,000	33,000
	財源内訳	国庫補助	715,000	27,500	110,000	148,500	429,000
		県 債	555,000	21,000	85,000	115,000	334,000
その他							
一般財源	30,000	1,500	5,000	6,500	17,000		
事業内容	改良360,000 橋梁700,000 (内旧橋撤去90,000)		路線測量 用地測量 詳細設計	用地補償費 改良工	改良工 橋梁工	改良工 橋梁工 舗装工	
調査経緯	<p>平成14年度 道路概略</p> <p>平成16年度 橋梁現況調査</p> <p>平成17年度 橋梁予備設計</p>						
上位計画での位置付け	<p>あきた21総合計画「第3期実施計画」における施策「いつでもどこでも受けられる医療体制づくり」を支援する事業 (三次医療アクセス道路関連)</p>						
関連プロジェクト等	北秋田市民病院(仮称)が平成21年9月開院予定						
事業を取り巻く情勢の変化	<p>県北部をカバーする三次医療施設として、北秋田市民病院(仮称)が平成21年9月に開院予定であり、病院へのアクセス道路の一つとして、交通量の増加が予想される。</p> <p>本県を代表する観光地である、世界自然遺産「白神山地」と森吉山県立自然公園を最短で結ぶルートであり、観光支援のためのアクセス整備が望まれている。</p>						
事業効率把握の手法	指標名	県道改良率					
	指標式	改良率(改良済延長/実延長)					
	指標の種類	成果指標	業績指標	低減指標の有無	有 無		
	目標値 a	76 %		データ等の出典	道路現況調査		
	達成値 b	76 %			(秋田県建設交通部)		
達成率 b/a	99 %		把握の時期	平成18年 4月			

2. 所管課の1次評価

観 点	評 価 の 内 容 (特 記 事 項)	評 価 点
必 要 性	県北部の地域間交流を支える道路であり通学路指定路線にもなっているが、幅員狭小で線形不良のうえ歩道も無いため、大型車のすれ違いが困難であり、地域内の安全が確保されていない。 地域内で人身事故が発生しており、早急に改良する必要がある(事故率65件/億台km)	27点
緊 急 性	平成21年に、三次医療施設として北秋田市民病院(仮称)が開院予定であり、アクセス道路の一つとして、交通量の増加が予想される。 高長橋の老朽化が著しいため、早急に掛替える必要がある。 大型車混入率が20%を越える路線であり、安全を確保するため緊急に整備する必要がある。	10点
有 効 性	第二次緊急輸送道路に指定されており、防災対策上、整備は有効である。 通過交通をバイパス的に流すことにより走行時間短縮が期待でき、集落内の安全も確保できる。	12点
効 率 性	事業の費用便益比は1.65であり、有効性は高い。 ・総費用の現在価値12.4億円 ・総便益の現在価値20.4億円 線形の優れた市道を県道に振り替えることで、計画段階のコスト縮減を図っている。	25点
熟 度	旧合川町長、旧合川町議会議長から、高長橋の架替えと当地区の改良要望が出されている。 増沢集落、木戸石集落、八幡岱集落の代表から、高長橋の架替えと当地区の改良要望が出されている。	10点
判 定	ランク ()	84点
	判定ランク であり、事業箇所としての優先度は高く、事業を実施すべきである。	
総 合 評 価	<p>選定 改善して選定 保留</p> <p>評価結果から事業箇所としての優先度は高く、事業を実施すべきである。</p>	

3. 総合政策課長の2次評価

総合評価	選定 改善して選定 保留
	当該路線は、能代市を起点として北秋田市に至る幹線道路であり、県北部の地域間交流支援を担う重要路線と位置付けられる。集落内を走る現道が、幅員狭小で歩道も無く、地域住民の安全確保に著しい障害を与えている状況を考慮すれば、一部県、市道の振り替えを行った上での、拡幅等整備の必要性、緊急性は共に高いものと認められ、事業実施は妥当と判断される。

4. 財政課長意見

意見内容	選定 改善して選定 保留
	当該区間は、住宅が密集し小中学校の通学など地域住民の生活道路であるが、幅員狭小、線形不良、橋りょう老朽により危険性があることから、当事業の実施は妥当と考える。

5. 最終評価(新規箇所選定会議)

総合評価	選定 改善して選定 保留
	事業の実施は妥当である。ただし、事業計画では部分的に歩道を設置しない内容になっているが、実施に当たっては、今後の道路の利用を見据え、歩道のあり方を再検討すること。

6. 評価結果の当該事業への反映状況等(対応方針)

当該箇所を国に新規要望する。 事業実施にあたっては、コスト縮減等に努める。
--

7. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を「可」とする。

評価種別 新規箇所評価

事業コード(H18-建-新-3)

適用基準名 道路改築事業(地域間交流・連携促進)

箇所名 (北秋田市増沢)

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要
必要性	道路の現状の問題				
	道路構造上の欠陥箇所数	3箇所以上	15	15	2次改築事業については該当しない
	・車道幅員 < 5.5m	2箇所	10		
	・最小半径 < 100m	1箇所	5		
	・最急勾配 > 5%				
	・冬期堆雪巾なし	0箇所	0		
	道路環境上の欠陥該当項目	5件該当	15	12	2次改築は配点30点 2次改築は配点24点 2次改築は配点18点 2次改築は配点12点 2次改築は配点6点
	・現道の混雑度 1.0	4件該当	12		
	・現道の旅行速度 30km/h	3件該当	9		
	・現道の事故率 50件	2件該当	6		
・通学路指定で歩道なし	1件該当	3			
・重大交通事故が発生	該当項目なし	0			
計			30	27	
緊急性	道路をとりまく環境等				
	関連事業の有無	県の主要プロジェクト等に該当	5	5	
	・県の主要プロジェクト	地域振興プロジェクトに該当	3		
	・地域振興プロジェクト				
	・ほ場整備等の他事業	該当なし	0		
	市町村合併支援道路	位置づけあり	5	0	
	位置づけなし	0			
特有の課題の有無	あり	5	5		
老朽橋、災害危険箇所、冬期通行不能区間等	なし	0			
計			15	10	
有効性	道路の位置づけ				
	緊急輸送路	第1次輸送路	8	7	
		第2次輸送路	7		
		第3次輸送路	6		
		指定なし	0		
	秋田21総合計画	2施策以上該当	7	5	
	1施策該当	5			
	該当なし	0			
計			15	12	
効率性	事業の投資効果等				
	費用便益比(B/C)	1.5以上	20	20	
		1.0以上~1.5未満	10		
		1.0未満	0		
	計画交通量	5,000台/日以上	10	5	
	1,000台/日以上~5,000台/日未満	5			
	1,000台/日未満	0			
計			30	25	
熟度	地元の状況				
	地元ニーズ	文書要望あり	4	4	
		口頭要望あり	2		
		要望なし	0		
	地元の協力体制	地元の内諾	3	3	
		用地反対	0		
地元への方針説明	あり	3	3		
	なし	0			
計			10	10	
合計			100	84	

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
	優先度がかなり高い	80点以上		
	優先度が高い	60点以上~80点未満		
	優先度が低い	60点未満		